

大牟田市立天の原小学校

1 本校のESDの特徴

本校は、大牟田市の南東部の高台に位置している。校区には、諏訪川の支流である野間川が流れ、学校南東部には竹林が茂っており、自然環境が豊かである。

本校は、海洋教育推進校となっており、有明海沿岸部に位置するみなと小学校や天領小学校、諏訪川沿いに位置する駛馬小学校と連携しながら、海洋に関する課題解決を図る学習を展開している。特に、本校は、森の視点から課題を追究することにより、「森・川・海」のつながりを通じた4校協働の海洋教育へと発展できるよう実践を進めている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

関連するSDGsの13(気候変動)・14(海の豊かさ)・15(陸の豊かさ)を核とし、上記4校と連携・協働し、総合的な学習の時間及び社会科を重点として海洋教育を推進している。総合的な学習の時間(3～6年)において、年間25時間を「海・川・山の時間」と設定し、海洋教育の四つの視点「海に親しむ・海を知る・海を守る・海を活用する」を系統的に仕組んだ活動計画を作成し、実施している。

学年	視点及び単元名	活動内容
3年	海に親しむ 「海や川の生き物のために」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有明海の干潟や諏訪川の支流である野間川に生息する生き物の調査・観察を通して、海や川の自然に体験的に親しむ。 ○ 学んだことをまとめ、隣接学校や校内、地域へ発信することを通して、海や川の生物多様性について考える。
4年	海を知る・守る 「海や川の環境のために」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有明海に流れる諏訪川の支流(鳴川・野間川)のゴミの様子や水質について調べ、調査結果を隣接学校と交流することを通して、ゴミや生活排水から海や川を守ろうとする。 ○ 学んだことをまとめ、隣接学校や校内、地域へ発信することを通して、川や海の環境保全について考える。
5年	海を守る・活用する 「森と私たちのために」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 川や海とのつながりが深い、山の役割や恩恵について農業や林業の視点から調べ、調査結果を隣接学校と交流することを通して、山や川・海からの恩恵を活用しながらもそれらを守る取組のよさを実感し、広めようとする。 ○ 隣接学校や校内、地域へ発信することを通して、恩恵・産業と私たちの生活との結びつきについて考える。
6年	海を守る・活用する 「自然と私たちの未来のために」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前学年までに学習してきた海洋教育の内容を総合し、「山や海などの自然の利用」「人と自然との共生」について各関係機関の協力を得ながら調べる。 ○ 調査結果を隣接学校と交流したり、隣接学校や校内、地域へ発信したりすることを通して、持続可能な地域づくりのために私たちにできることについて考える。

表1 天の原小学校 全体計画

3 特徴的な活動事例



(1) 3年生：野間川の生き物調査

自分たちの地域に流れる「野間川」にはどんな生き物が生息しているかという課題設定を行い、野間川の生き物を調べた。「有明海を学ぶ会」の柿川先生をG Tとして招聘し、野間川で採取した生き物の名前や特徴などを教えてもらった。絶滅危惧種の生き物も発見することができ、これらの生き物を大切にしていこうとする思いをもつことができた。



【3年生：野間川調査】

(2) 4年生：鳴川のごみ・水質調査

社会科や総合的な学習の時間で、ごみ問題について学習を重ねてきた子供たちは、諏訪川上流に位置する支流、鳴川にどのようなごみがあるかという課題を設定し、ごみ調査を行った。また、諏訪川の上流と下流の水質の違いについても調査を行った。川の水を汚さないために日頃からできること(食器を汚さない工夫等)を考え、実践することができた。



【4年生：水質調査】

(3) 5年生：無農薬農業に関する調査

社会科の農業に関する学習と関連させ、自然をよりよく活用するために農家の方が取り組んでいる工夫を学ぶという課題を設定した。櫛野で無農薬農業を進めていらっしゃる山下さんの水田を観察し、山下さんの話から、「山・川・海のつながり」そして、それらの恩恵を活用しながら自然を守り続けていくことのすばらしさを感じる事ができた。



【5年生：農業調査】

(4) 6年生：竹害に関する調査

夜須高原での里山調査・間伐体験やG Tの環境保全課の方のお話を通し、大牟田市の山の環境問題の一つである竹害について課題を設定した。竹害を減少させる解決方法を効果と課題の視点から考えたり、竹の伐採、細工等の体験を通し、竹の活用についての苦労等を味わったりした。竹林が多い校区という特徴からも、竹害への課題意識をもつことができ、人と自然、人と人との共生について見つめることができた。



【6年生：間伐体験】

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・様々なG Tとのかかわりにより、人の生き方に触れ、自然愛の育成やキャリア教育にもつながった。
- ・4校での合同授業により視野が広がり、各校の課題解決した内容を含めた発信をすることができた。

○課題

- ・子供たちが主体的に問題発見、課題解決に取り組むことができるような柔軟な探究過程の展開
- ・目指す資質・能力及びこれまでの活動の整理→ねらいをもった活動を仕組んだ年間計画の改善